

「勉強しないとどうなるんですか？」

「なぜ子供は勉強しないといけないんですか？」

学齢期の幼い子供達がテレビCMで次々に問いかける映像を見ると、私達人人もふと考え込んでしまう。私立はただ踏み切れずにいる所も多いが、折しも折り、毎週土、日を休む学校五日制がスタートして三ヶ月が経過した。

小、中、高校では、土曜日の過ごし方をいろいろ模索しているが、まだこれといった名案には漕ぎつけないようだ。学力低下への不安、地域ぐるみの手助け、幅広い総合学習などの試みも重ねられており、親や教師の戸惑い、悩みはなかなか尽きない。

数日前、昭和十二年の卒業した小学校の年一回の同窓会に出席した。去年は男組だけでわずか十七名程度に過ぎなかったが、今年は男女合同コンパとあって三十二名にも膨れ上がった。ウナギの寝床のような長い「おてがる割烹」の座敷で、二時間半近く、飲

談は尽きなかった。

助平根性丸出で、日ごろ無口な男友達もこの日ばかりは、大いに快活、はしゃいで大にぎわい。会話も弾み、遠い思い出話に花が咲いた。

意外に多い物故者に黙祷、それぞれ自己紹介ののち、盃を重ねながら、女性陣がなんと元氣よく、喜寿を超えたというのに、とてもそうとは思えぬ若々しい挙指動作に感服

◇世相やぶにらみ 第67回◇

## 日本人像の行方

「勉強しないとどうなるんですか？」

西日本新聞社友相 羽 亮

した。

なかでも、女性は女性なりにボス的リーダーが健在というところ。大柄で声も太く、人をそらさぬユーモア精神がたっぷり。野郎どもの二次会へも、その人を含む二人がお越し頂いた。

さて、横道へそれたようだがそうではない。子供達にぜひとも伝えたいのは、われら

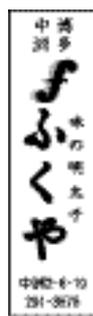
老人どもの心意気。なにも、テスト成績の出来、不出来がその人生を決して左右しないという厳然とした事実である。人を出し抜いたりはずせ、悠々とマイペースを歩んだ友人達の今日の姿には満足感が漂っている。

今も現役の中小企業の社長、過去の栄光を微塵もひけらかさず、謙虚に耳を傾ける当時の優等生。人生すごろくはさ

まざまだが、久々に寄ると昔に帰る。七十年も昔のわれわれだから、旧制中学へ進学したのは五十人のクラスでわず

か数人に過ぎない。女性で旧制女学校へ進んだ人を除けば、ほとんどが尋常高等小学校の中で六年間の尋常科に加え、高等科で二年間を上積みしただけの学歴だ。

中学の途中で海軍航空隊



「予科練」へ志願し、敵艦に体当たりして母国再建に尊い命を捧げた勇士もいる。それ以外にも、早く昇天した仲間のもそれぞれは、それなりの成功者として、立派な社会人とし

ての役目を果たしている。戦争さなかの時代は、顧みて暗いばかりではなかった。物のない苦しい経験も数多くなめた思い出を忘れはしない

が、逆境の中での子供らしい遊び、あるいは勤労働員、女子挺身隊としての気働きなど、孫たちに伝えるのは難しいけれど、それなりの暮らしを誇りを持って振り返ることが出来る。

現代の各界の大人達の目を覆いたくなるぶざまな悪業も、立場への自覚のなさ、緊張感の欠如など、幾多の要因があるにせよ、まず考えるのは、張りつめた緊張感いっぱいの環境をどう再構築するかに尽きると思う。

さりとて、国際関係の緊迫、

さらには戦時下に戻れなどと、たわけた主張をするのではない。この難題にどう立ち向かうのか。

勉強好きな日本への誘導ももちろん必要だが、それだけで万事足れりということではなからう。学習能力の向上も欠かせないけれど、ゆとり教育での奉仕活動、勤労体験も決して無視したり冷笑するだけでは進歩はない。

せめて、周りへの感謝、報恩を忘れぬあいさつ、笑顔、履き物をそろえる躰はぜひ。

うわさ 第68巻 第7号 通巻811号  
禁コピー・無断転載  
1部210円 送料68円 1年3,300円 送料共前納  
編集兼発行人 寺田隆弘 発行所 雑誌うわさ社  
福岡市博多区冷泉町1番8号 ☎092(271)0089番  
〒812-0039 印刷・製本 株式会社 川島弘文社  
zasshi-uwasa@nth.biglobe.ne.jp  
http://www5a.biglobe.ne.jp/~uwasa/  
振替01710-9-16664番  
☆☆☆☆本誌取り扱い書店☆☆☆☆  
福岡金文堂本店・アニマート那珂川店・アニマート春日店/  
新天町積文館/電気ビル創文館/ブックやまだ(中洲交番前)